



イベントなどで撮影した写真は、「広報おたけ」、市ホームページ、市公式SNSや市の刊行物で使用するほか、マスメディアなどに提供することがあります。



小瀬川に
春の訪れ告げる
ひな流し



3/9
SUN



白く丸めた粘土に顔を描き、千代紙の着物を着せて流すおひな様。川面に揺れる流しびなに手を合わせ願いを託します。名残惜しげに手を振る光景も見られました。

子どもの成長と健康を願って

木野両国橋下流河原

春の訪れを感じさせるような暖かな日差しに包まれたこの日、青少年育成市民会議主催の『ひな流し』が開催され、市内外からの多くの来場者でにぎわいました。

大竹一 番太鼓ジュニア「童夢」の『疾風迅雷』の演奏の後、自宅や会場の専用ブースで手作りした流しびなを仮設の桟橋から願いを込めながら流していきます。対岸には、その瞬間を写真に収めようとする多くのカメラマンの姿が見られました。うごんやわがしの屋台もあり、子どもたちにとっては大満足の一日になったようです。

廿日市市からの坪谷向夏さん（4歳）と妹の百夏さん（2歳）は「幼稚園を楽しく過ごせますように」と願いを込めたと話してくれました。

主催の青少年育成市民会議会長の児玉正之さんは「今では男性の参加者も増え、男女問わず誰もが楽しめるような催しになった」と川面の流しびなを眺めながらほほ笑みましました。